

市の人口と予算(12月1日現在)	
人口・世帯()内は前月比/前年同月比	
合計	164,188人 (+258/+2,701)
男	81,522人 (+150/+1,311)
女	82,666人 (+108/+1,390)
世帯	65,974世帯 (+145/+1,671)
予算	
一般会計	407億3,392万3千円
特別・企業会計	347億1,309万6千円

今年1年を振り返って

後期基本計画がスタートした年

都心から一番近い 森のまちへ向けた
新たな取り組みも



NPOさとやまの案内で市野谷の森を探索

師走に入り、平成22年も残りわずかとなりました。市民の皆さんにとって、今年はどういう1年だったでしょうか。

流山市では、向こう10年間のまちづくりの道筋を示した後期基本計画のスタートの年となり、「都心から一番近い森のまち」実現に向けて大きな一歩を踏み出しました。

次世代に残す自然環境

今年、国連の定める「生物多様性年」でしたが、本市では全国に先駆け「生物多様性地域戦略」を策定したほか、地域戦略の策定に取り組む自治体が参集した「いきものジャパン・サミット」や次世代を担う子どもたちに楽しく遊びながら生物多様性を学んでいただく「ピオキッズ10」を開催。さらに、環境省のグリーンウェイブ2010に参加登録し全小・中学校で植樹を実施するとともに、西深井小では大規模な「森の創出事業」を行うなど、未来に向けて多様な自然環境を残すためさまざまな事業を展開しました。



小山小学校でカツラの木を植樹

利根運河が1年を通して話題に

市民の憩いの場として親しまれている利根運河が通水120年を迎え、これを記念して「利根運河新歌舞伎」や「運河サミット」が開催されたのはじめ、各種講演会や写真展、朗読劇なども行われ、1年を通して利根運河が大きな話題となりました。特に9月14日には、皇太子殿下がオランダのアレキサンダー皇太子殿下とともに、初めて利根運河をご視察され、新聞やテレビでも報道されました。



日・蘭両国の皇太子殿下が利根運河をご視察

全国や国際大会でも活躍

市民や市内出身者の活躍も目立った1年でした。市内在住の万華鏡作家の中里保子さんが、アメリカ・カリフォルニア州で開催された、世界最大の万華鏡コンベンション「カレイドスコープ・ソサエティ・コンベンション」で、2大会連続となる最優秀作品賞を受賞。地域ぐるみでグリーンカーテンの普及やグリーンバスの利用促進を行い、CO2排出量の削減を図っている美田自治会は、「ストップ温暖化『一村一品』大作戦」全国大会2010に千葉県代表として出場し、環境大臣表彰を受賞しました。



世界的万華鏡作家・中里さんの受賞作品

スポーツの面では、今年1月に広島で行われた「第15回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会」で、南流山中3年(当時)の町澤大雅君が区間新記録を樹立、8月にシンガポールで開かれた「第1回ユース五輪夏季大会」では、南部中出身の梨本真輝君(市立船橋高2年)が、男子100メートルで銀メダルに輝きました。記憶に新しいところでは、広州アジア大会で、カヌースラローム女子カヤックシングルに出場した北部中出身の山田亜沙妃さんが見事に銅メダルを獲得しました(4面で紹介)。



都道府県対抗駅伝で力走する町澤君

今号では、1・2面で今年のさまざまな出来事を写真とともに紹介し、1年を振り返りました。



市民の身近な足「グリーンバス」

8月22日には、累積利用者が200万人を突破しています。

3月1日、グリーンバスに「野々下・八木南団地循環ルート」を開設したことにより、市内で運行されているグリーンバスは6ルートとなりました。

「任侠流山動物園」を演じる三遊亭白鳥師匠



「任侠流山動物園」を演じる三遊亭白鳥師匠

1月16日、文化会館で林家正蔵、桂南喬、林家しん平など豪華師匠を招いて「新選! 流山寄席」が行われました。今年1年、流山では「笑って健康を」と、寄席や漫才イベントが毎月のように開催されました。今月14日(火)には、青空球児・好児や健康落語の立川らく朝などが出演する「お笑い大行進5」が生涯学習センターで開かれます。

きる種目は、サッカー、少年軟式野球、ソフトボール、グラウンド・ゴルフなど多彩です。



グラウンド・ゴルフを楽しむ皆さん

市民の健康増進の新たな拠点となる、おたかの森スポーツフィールドが4月1日にオープンしました。敷地内の調整池や広場を含めて、広さは約2万5000㎡。利用で

おたかの森スポーツフィールドがオープン



森のまちエコセンターの竣工式

4月1日、このす台上に森のまちエコセンターがオープン。剪定枝資源化施設とし尿処理施設から構成され、市内の庭や公園などで発生した剪定枝から堆肥やチップを作り、市民の皆さんに当面無料で提供しています。9月からは剪定枝の戸別収集(有料)も始めました。

利根運河でレンタサイクル開始

4月17日、市内で初のレンタサイクル事業が利根運河で始まりました。「うんがいい！レンタサイクル」と名付けられ、四季を問わず風光明媚な利根運河で多くの方が気軽にサイクリングを楽しまれています。



利根運河でサイクリングを楽しむ

初のまなびふれあいまつりが開催

6月5日と6日の2日間、生涯学習センターで「まなびふれあいまつり」が行われました。子どもが楽しみながら学べるイベントをと企画されたJAXAによる展示や、南極OＢ会による講演、熱気球体験、乗馬、模擬店など盛りだくさんの内容で、多くの家族連れが訪れ賑わいました。



まなびふれあいまつりで熱気球体験

「ジョー・オダネル写真展」が生涯学習センターで

生涯学習センターギャラリー

「ジョー・オダネル写真展」が開催されました。

6月8日から13日まで「ジョー・オダネル写真展」が開催されました。オープニングセレモニーでは、関連イベントに出演のコカリナ奏者・黒坂黒太郎さんによる演奏や、市内の童話作家・白木恵季子さんが、自身の作品「ことりになったエノキ」を八木南小学校の3年生25人とともに朗読しました。



涙を誘ったジョー・オダネル写真展

食の祭典「森のマルシェ」が6月から12月まで

6月19日、おたかの森駅南口都市広場と西初石近隣公園を会場に、初の「森のマルシェ」が行われました。マル



多くの来場者で賑わった森のマルシェ

シエはフランス語で「市場」の意味。ここでしか手に入らない旬やこだわりの味が集結し、流山ならではの新名物も登場しました。今月は18日(土)に開催されます。

朗読劇「夏の雲は忘れない」に地元中・高生も出演

7月31日、文化会館で女優たちによる朗読劇「夏の雲は忘れない 一九四五・ヒロシ



市内の中学生も出演

マナガサキ」の公演が行われ、地元出演として北部中学校の生徒と同校出身の高校生が、ベテラン女優たちに加わり朗読しました。朗読されたのは、65年前の夏、広島や長崎で原爆投下により語りつくせない悲惨な体験をされた方々の手記や詩などです。

築121年の見世蔵が一般公開

流山2丁目にある明治22年築の土蔵造りの蔵がリニューアルし、8月1日から「見世蔵」として一般公開されました。店舗として使われていた1階部分は、市内在住の世界的名作家・中里保子さんの作品などを展示したギャラリーとなっています。



ギャラリーとして公開された見世蔵

流山おたかの森駅近くに直売所オープン

8月18日、流山おたかの森駅東口から徒歩3分の隣アビーの研究所1階に、食品直売所「C.A.S旬・感・フレッシュフローズン」がオープンしました。売り場面積は約100坪で、店頭に並んでいるのは、市内の農家から出品されている無農薬の新鮮野菜をはじめ、同社の開発したC.A.S冷凍システムで急速凍結された全国各地の海産物などです。



新鮮野菜や全国の海産物を販売

TX東京駅延伸向け、県に要望書提出

つくばエクスプレスは、2005年の開業から8月24日で5周年を迎えました。現在の乗客数は1日平均28万人と開業当初の15万人から倍近くまで伸びています。



森田県知事に要望書を提出

8月19日には、井崎市長が柏の秋山市長とともに、TX沿線の東京、埼玉、茨城の連

携を強めるよう求める要望書を森田県知事に提出しました。流山版「事業仕分け」を実施

8月28日、流山版事業仕分け「事務事業の廃止・見直し



インターネットで生中継も

等の検討会議」が、一般公開のもと市役所で行われました。会議の様子は、インターネットによる生中継(ユーストリム)で公開され、合計で476件のアクセスがありました。当日は、対象9事業のうち2事業が廃止と判定されました。

市議会で全国初のスマートフォン採決

9月9日、市議会第3回定例会の本会議において、全国初のスマートフォン採決が行われました。このシステムで議場のモニターに各議員の賛否が表示され、より開かれた議会へと進みました。



スマートフォンの画面で賛否を

市内男性最高齢の森さんが県内でも最高齢に 敬老の日の9月20日、井崎

市長が市内男性最高齢者の森千代吉さんを、入院されている柏市内の病院に訪ね長寿をお祝いしました。森さんは、明治36年11月1日生まれで、現在百七歳。流山市では2年連続の男性最高齢者です。今年、県内の男性最高齢者にもなりました。



県内の男性最高齢者となった森さん

37年ぶりの千葉県開催となった「ゆめ半島千葉国体」。9月26日には、市民総合体育館で「デモンストレーションとしてのスポーツ行事」のヘルスバレーボール大会が行われ、小学生の部では長崎小学校「フレンド」が優勝しました。



楕円形のボールが特徴のヘルスバレー

西深井小学校で森づくり

9月27日、西深井小学校で「森の創出事業」が行われました。これは、単なる植樹ではなく、校庭の一部の200

m²の土地に、約25種類、600本の苗木を混植・密植して常緑樹の森をつくらうというものです。この日は、同小の4年生から6年生の児童133人の他、保護者や教職員などが参加して、横浜国立大学の宮脇昭名教授による森づくりについての講演が行われ、その後、5年生34人を中心に校庭に出て植樹を行いました。



児童たちが600本の苗木を植樹

全国運河サミットin利根運河で共同宣言

11月7日、東京理科大学力ナル会館で「全国運河サミットin利根運河」が開催されました。利根運河通水120周年を記念して開かれたもので、サミットの最後には、運河を街づくりや多様な生物の命を育む空間として未来に拓く「運河サミット共同宣言」が井崎市長より発表され、採択されました。



宣言文を読み上げる井崎市長

平成21年度行政評価と 平成22年度「各部署長の仕事と目標」の公表

市では、行政評価制度を導入して、市総合計画の施策や全ての事務事業について毎年評価をしています。行政評価制度とは、市の仕事の達成度を数値で評価し、その結果を計画立案や事務事業の進め方に活かすことで、効果的・効率的な市政運営を実現し、市民の皆さんへ説明責任を果たすものです。

このほど、平成21年度の施策担当部署長による「行政評価」と、これに対する行政改革審議会からの意見である「外部評価結果」がまとまりました。

行政改革審議会は、学識経験者、公共的団体等の代表者、市民により構成されるもので、外部評価は、透明性と客観性を向上させるために取り入れています。

また、行政改革の一環として各部署長が策定する「各部署長の仕事と目標」の平成22年度上半期(4月～9月)の達成状況について、中間確認がまとまりましたので合わせて公表します。内容については、市ホームページや市役所情報公開コーナー、市民活動推進センター、各出張所、図書館(分館を含む)でご覧いただけます。

行政改革推進課
715016078

就学援助費の申請を随時受け付け

経済的な理由で、子どもに義務教育を受けさせることが困難な保護者を対象に、学用品や学校給食の費用などを援助する「就学援助費」の申請を随時受け付けています。

▽対象は次のいずれかに当てはまる方

- ① 経済的に困り、同一世帯の家族全体の所得が限度額以内の方
- ② 児童扶養手当を受給されている方
- ③ 国民年金や健康保険の保険料が申請により減免になっている方 など

▽援助の内容は①学用品費 ②通学用品費 ③校外活動費

④ 学校給食費 ⑤ 林間学園費 ⑥ 修学旅行費 ⑦ 医療費(虫歯、中耳炎など、学校保健安全法施行令に定められた疾病をもつ児童・生徒で学校健診により治療勧告された疾病が対象) ※⑤林間学園費と⑥修学旅行費については、既に参加している場合は対象になりません

▽申し込みは各小・中学校の学級担任に申し出て手続きを※1・2学期に、既に申請し認定されている方は申請の必要はありません

図 学校教育課
715016104

学用品費や学校給食費などを援助

教育課で配布の所定様式を直接窓口へ
図 学校教育課 ☎ 7150-6104

その他

★とん汁ジョギング
 12月26日(日)7時～10時(受付6時40分から) ※雨天決行
 場所=八木北小学校(雨天時は体育館)
 内容=体力アップ運動、ウォーク・ジョグなど※終了後とん汁を食べます 費200円 図 不要

図 生涯学習課 ☎ 7150-6106
★道路通行時のスリップにご注意を!

これから冬季を迎え、寒気による道路の路面凍結や積雪などが予想されます。道路の通行時や車の運転時は、夜間の路面凍結や積雪によるスリップ事故などにご注意ください。

図 道路管理課 ☎ 7150-6093
★お子さんの子育てに関する相談

市教育委員会では、来年度小学校に入学するお子さんをおもちの方を対象に、「ことば」「発達」などのご相談に応じる就学相談を行っています。また、就学前のお子さんの子育てや、学校生活での相談も随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

図 指導課 ☎ 7150-6105
2011年版手賀沼カレンダーの無料配布

▽配布方法=12月13日(月)から環境政策課で ※1人1部。無くなり次第終了。なお、来年より有料化する予定です

図 環境政策課 ☎ 7150-6083
流山こまぎ園の年忘れお楽しみ会

こまぎ園利用者と市民の方が、年末のひと時を楽しく過ごします。

12月22日(水)11時～14時
 図 流山こまぎ園(駒木台) 費 無料 図 安来節、和太鼓演奏、ハーモニカ演奏と合唱、カレーライス昼食会
 図 流山こまぎ園 ☎ 7199-8320

講座・講演

流山の昔を語る会 第二回～昭和初期の流山～

「みりんの香る街 流山」の著者・青木更吉さんと見世蔵の寺田英一さんが、歴史ある流山について語ります。

12月25日(土)11時から 図 見世蔵 費 無料 図 20人(先着順) 図 電話または直接見世蔵へ

図 見世蔵 (NPO法人グローバルながれやま) ☎ 080-4158-0133
江戸川大学サテライトセンターの講座「こころが伝わるコミュニケーション」(全4回)

1月13日・20日・27日、2月3日の木曜、13時30分～15時
 図 江戸川大学サテライトセンター 費 6,000円 図 江戸川大学非常勤講師・桑原香苗さん 図 電話、ファクス、メール(stcenter@edogawa-u.ac.jp)で

図 同センター ☎ 7156-7715
 FAX 7153-9100

生涯現役のための「正しい食生活」調理実習((社)流山市シルバ一人材センター主催)

小鍋ちゃんこを作ります。栄養素の整った献立を学びましょう。

1月24日(月)10時～13時30分
 図 京和ガスおたかの森ショールーム 図 20人(先着順) 費 1,000円 図 エプロン、三角巾、ふきん、筆記用具 図 電話で同センターへ
 図 同センター ☎ 7155-3669

会議(傍聴可)

★福祉施策審議会

12月20日(月)13時15分～14時30分
 図 ケアセンター 図 (仮称)流山市受動喫煙防止条例(素案)について
 図 社会福祉課 ☎ 7150-6079

資格・求人

★市臨時職員(平成23年度特別支援学級介添員)の登録者募集

▽勤務場所=特別支援学級設置校(市内小学校8校、中学校4校) ▽勤務日=月～金曜または月14日以内※いずれも祝日、長期休暇を除く ▽勤務時間=8時～16時15分※学校により変動あり ▽勤務内容=特別支援学級の児童・生徒の指導補助や学級担任の補助など ▽時間給=910円または950円※交通費は別途 図 学校

選挙人名簿の登録者数

公職選挙法に基づく12月1日現在の、選挙人名簿の登録者数は、133,595人(前回比555人増)です。

男女別では、男66,085人、女67,510人です。選挙人名簿の登録は、正確な有権者数を把握するため、年4回行っています。

図 市選挙管理委員会事務局 ☎ 7150-6100

しみんの伝言板

このコーナーに掲載を希望する方は、掲載申込書(一部の市内公共施設備え付け、市ホームページからのダウンロードも可)に必要事項を明記の上、秘書広報課に提出してください。なお、イベント掲載希望者は、掲載希望号の1カ月前までに提出を。

図 秘書広報課 ☎ 7150-6063

イベント

市の谷の市(楽しいフリマ)=12月18日(土)9時～12時、円東寺(市野谷) 図 増田 ☎ 7150-1313

オーロラ・夢コンサート(花れん主催)=12月19日(日)13時30分～15時、生涯学習センター。入場料無料 図 伊藤 ☎ 7152-1871

第二回フォトサークル陽だまり写真展=12月20日(月)～26日(日)9時～21時(20日は13時から、26日は17時まで)、生涯学習センター。入場料無料 図 菊地 ☎ 7143-5035

クリスマスコンサート(ギャラリー平左衛門、楽々クラブ共催)=12月23日(祝)13時30分～16時30分、ギャラリー平左衛門(東深井)。入場料無料 図 砂川 ☎ 7154-7035

年末年始のごみ収集

12月31日～1月3日はお休みです

期日	業務区分	
12月	28日(火)	平常業務
	29日(水)	平常業務
	30日(木)	平常業務
	31日(金)	休業
1月	1日(土)	休業
	2日(日)	休業
	3日(月)	休業
	4日(火)	平常業務

※クリーンセンターへのごみの搬入時間は、8時30分～11時40分、13時～15時40分です
 図 クリーン推進課 ☎ 7157-7411

冬休み消防子供体験学習

▽日時=12月26日(日)10時～12時 ▽場所=中央消防署
 ▽内容=放水体験・煙体験・消防車に乗っての記念撮影など ▽対象/定員=小学生以下/20人(先着順) ▽参加費=無料 ▽持ち物=タオル・運動靴 ▽申し込み=12月11日から電話で中央消防署へ
 図 中央消防署 ☎ 7158-0266

家計にやさしいジェネリック医薬品をご存知ですか?

薬をより安価で利用できます

ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、新薬の特許期間満了後に、別の製薬会社から発売される薬のことです。新薬に比べ開発コストが抑えられているため、安い価格で購入できます。増え続ける医療費を抑制するため、国の方針の一つとしてジェネリック医薬品の使用促進が取り入れられました。医師または薬剤師に相談し、ぜひジェネリック医薬品をご使用ください。

図 国保年金課 ☎ 7150-6077

市内で行われたイベントや話題の情報など、幅広くピックアップ! 旬の出来事をお届けします。

おとなりさん Vol.47

アジア大会で銅メダル
カヌースラロームで
ロンドン五輪を目指す

山田亜沙妃さん (富士見台出身、26歳)

「優勝を目指していただけに悔しい」。11月12日から27日まで中国広州で開催されたアジア大会で、カヌースラローム女子カヤックシングルに出場し、見事に銅メダルを獲得した山田亜沙妃さん。予選を1位で通過したが、決勝では最後の最後にミスをして結果は悔いの残る3位。現在は仕事の関係で新潟県三条市に住んでいるが、新川小、北部中を卒業した生粋の流山っ子だ。

カヌーを始めたのは小学5年生の時、カヌーが趣味だった父の勧めだったが、すぐその魅力にとりつかれ中学2年生でジュニアのナショナルチームに入り、中学3年の時にはフランスに2カ月の短期留学、大学在学中もチェコに1年間、スポーツ留学をして技を磨き、日本の第一人者へと成長してきた。

今は、ワールドカップの遠征や練習などで1年の半分を海外で過ごしているという。「育った流山が大好きで、忙しくても折あるごとに帰ってきています。中学や高校の友だちに会うのも楽しみ」と明るく笑う亜沙妃さんの表情には、激流のなかで水しぶきを上げながらカヤックを操る厳しさはうかがえない。とても穏やかで笑顔が素敵なお嬢さんだ。

小・中学生時代は、地元の流山カヌークラブに所属し江戸川で練習した。「江戸川育ちといってもいいですよ。今でも流山に来た時には江戸川で練習しています」。競技のかたわらアウトドアの専門学校で非常勤講師も務める亜沙妃さんは、「まだまだマイナーな競技なので、まずは皆さんにスラロームという競技を知っていただきたい」と語る。水のスポーツは危険なイメージもあるが、ルールを守ってライフジャケットなど装備をきちんとすることで安全になると話し、カヌーの普及にも力を入れている。

国際大会で初のメダル獲得となったが、もちろん満足したわけではない。今の目標は、「ロンドン五輪に出場し、メダルを目指す」ときっぱり。「まずは、来年9月の世界選手権で五輪出場を決めたい」。ただし、この種目で出場できるのは日本でたった一人の狭き門だ。流山出身の選手がオリンピックで大活躍。そんな話題を再来年お知らせしたい。



©時事通信社
表彰式で銅メダルを胸に

流山流
ながれやますたいる



©時事通信社
アジア大会決勝で急流に挑む山田亜沙妃さん

JCの「誇れるまち流山かるた」が完成

小学生の3,621作品から選ばれた46作品をお披露目



み札と絵札を募集し、3,621通の応募から「あ」から「ん」の46作品が選ばれ、このほど完成しました。

11月27日には、流山福祉会館で完成したかるたのお披露目と表彰式が行われました。昨年亡くなられたおじいちゃんへの思いを書いたという、西初石小3年・宮越すみれさんの作品「手を合わせ 風の声聞く 浄信寺」。おじいちゃん子だったすみれさんは、毎日の仏壇へのお膳とお経を欠かさないそうで、「大好きなおじいちゃんへの思いがかるたになって嬉しい」と話してくれました。

このほかにも、向小金小1年・齋藤麻梨子さんの「流鉄に乗って楽しむ 桜道」や、新川小4年・水上舞音さんの「みんなに 幸せをあたえる 流山七福神」など、地域の題材から歴史や時事などを取り上げたもので、様々な作品がそろいました。

できたての流山かるたを使って行われたエキシブションのかるた大会では、子どもたちが8つの組に分かれてゲームを楽しみました。

同会議所の誇れるまち流山委員会・鈴木道貴委員長は「まちづくり事業は、人づくり事業。子どもたちが流山を誇りに思い、自慢の故郷として感じられることがまちを活性化させる根幹になるのでは」と話してくださいました。このかるたは、市内全児童に配布されるほか、今後の活用方法を検討しているそうです。



高校演劇20分シアター in 流山 vol.2

「家族」をテーマに7校が創作劇

20分間のショートストーリーを次々に上演するというユニークな舞台。流山おおたかの森高校や柏の葉高校など7校の高校生たちが出演します。上演作はすべて、演劇部の生徒・顧問によるオリジナル。今回は「家族」をテーマに、20分間という短い制限時間内で、各校が工夫を凝らしたドラマを熱演します。

▷日時=12月23日(祝)13時30分~17時(13時開場)▷場所=文化会館ホール ※入場無料・申し込み不要
文化会館 ☎7158-3462



流山おおたかの森高校演劇部の皆さん



11月は秋作や春に植えたサツマイモやサトイモの収穫時期に当たります。今年、夏の日差しの強さと気温の高さ、雨がほとんど降らないといった悪天候のため、サトイモが去年の3分の1以下の収穫となってしまいました。しかし、サツマイモの方は例年とほぼ同程度の収穫ができたと思います。サツマイモに関しては、今年5月8日に定植を行い収穫までは5カ月かかりました。収穫期間は1カ月半程大丈夫ですが、保管しておきたい場合は一回土から掘り出して再度土を被せておくと日持ちするようにバクチョイ、カラシナ、チヨウホウナ、ホウレンソウ、カブですが、9月の始めに播種してから収穫を迎えるまで約



春から始まりました体験農園もいよいよ12月で終了です。愛宕ふれあい農園 ☎7156165 (05)では、来年度の利用者募集を始めましたので、このコラムを読んで興味を持った方は農業体験を始めてみませんか? 当農園は自分で用意するものはありません。気軽に一歩踏み出して、農業に触れてみましょう。次回は農園利用者の声をお伝えします。(愛宕ふれあい農園)

体験農園レポート (Vol.7)

